



あぐりあす

第283号

令和7年6月24日発行
久慈農業改良普及センター
経営指導課：0194-66-9684
産地育成課：0194-66-9683
地域指導課：0194-53-4989
FAX：0194-53-5009

～ 掲 載 内 容 ～

ページ

1 久慈地域の情報

○普及現地情報

- ・ 水稻新品種「白銀のひかり」の育苗巡回を実施しました . . . 1
- ・ 「白銀のひかり」の出前授業を実施しました！ . . . 2
- ・ 水稻新品種「白銀のひかり」の田植え体験が開催されました . . . 3

2 お知らせ

○「白銀のひかり」栽培志向者向け研修会を開催します！ . . . 4

- ・ 「白銀のひかり」を新たに生産・出荷してみたい方向けの研修会を7月に2回開催します。

○令和7年度 農薬適正販売・使用研修会について . . . 5

- ・ 安全に農薬を使用するために、効率的な病虫害防除や飛散防止対策について学んでみませんか？

○農作業中の熱中症を予防しましょう！！ . . . 別添

- ・ 夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきています。
正しい知識を身につけて適切に予防しましょう！

○令和7年度 農薬危害防止運動実施中！

- ・ 農薬の適正利用を心がけ、登録されているもの使用しましょう。 . . . 別添

○第三者継承の相談窓口について

- ・ 家族以外に農業経営を譲りたいとお考えの方、ご相談ください。 . . . 別添

○岩手県立農業大学の概要について

- ・ 令和7年度の概要をご紹介します。 . . . 別添

水稻新品種「白銀のひかり」の育苗巡回を実施しました

令和7年から本格栽培が開始される県オリジナル水稻品種「白銀のひかり」の育苗巡回を、JA 新いわて久慈営農経済センターと連携して令和7年4月23日（水）に実施しました。

久慈地域では約30経営体が「白銀のひかり」の作付けを予定しており、約40haの栽培面積となる見込みです。

普及センターからは、育苗期間中の気温がかなり高くなる見込みであることから、苗の徒長や細菌病の発生を防ぐため、ハウス開閉による温度管理を徹底するよう指導しました。また、「白銀のひかり」は管内の主要品種である「いわてっこ」に比べて葉色が淡く、草丈が長くなる傾向があるため、それらの特性もあわせて説明しました。

生産者からは、「白銀のひかり」について「催芽の段階で芽が出やすいと感じた」「確かに葉色が淡い」等の感想が寄せられ、他の品種との違いを理解した様子でした。

普及センターは、「白銀のひかり」をはじめ、水稻の高品質・安定生産に向けて生産者の活動を支援していきます。



育苗巡回の様子



「白銀のひかり」の苗
（立札手前側）

「白銀のひかり」の出前授業を実施しました！

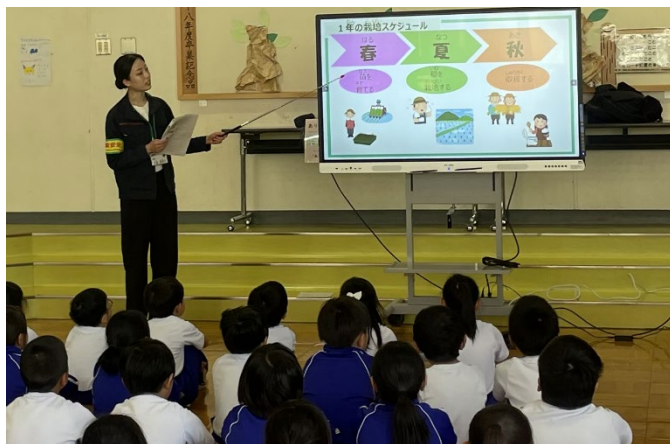
令和7年から本格栽培が開始される県オリジナル水稻品種「白銀のひかり」や米づくりについての関心を高めるため、5月14日（水）に久慈市大川目小学校の全校児童57名を対象とした出前授業を行いました。

この日は、この地域で達増知事による「白銀のひかり」の田植えが行われることになっており、その一環として、お米づくりについてやブランド米「白銀のひかり」の特徴などについて、普及センター職員が説明しました。

説明の後、児童から「白銀のひかり」についてたくさんの質問が出され、その関心の高さがうかがえました。

また、最後に試食を行うと、「美味しい」「もっと食べたい」といった声が多数で、味にも満足した様子でした。

普及センターでは、「白銀のひかり」の高品質・安定生産に向けた生産者の活動支援のほか、地域の子ども達の理解を深める活動も引き続き行っていきます。



米づくりについて説明中



試食タイム

水稻新品種「白銀のひかり」の田植え体験が開催されました

岩手県オリジナル水稻品種「白銀のひかり」の田植え体験が、令和7年5月26日にJA新しいわて久慈地域白銀のひかり栽培研究会の新井野勉会長の水田において開催されました。本行事は食育の一環として、久慈市立夏井中学校の1年生を対象に毎年開催されており、生徒、先生のほか地域の水稻生産者、土地改良区、市役所等の職員も参集しました。

まず、新井野会長が苗の植え方を説明し、普及センターは「白銀のひかり」の特性を説明しました。田植えでは、事前にライン引きで引かれた線をたよりに2アールほどの面積を上手に植え付けることができました。参加した生徒からは「手で植えるのは大変で、昔の人が田植えにどれほど苦勞したのかを知る良い経験になった」「白銀のひかりを食べてみたい」等の感想が寄せられました。秋には収穫体験が行われる予定となっています。

普及センターでは、「白銀のひかり」の認知度向上や食育の推進に向けた取組を支援していきます。



生徒たちに苗の植え方を説明する新井野会長



慣れない足下の中、上手に田植えする生徒たち

「白銀のひかり」栽培志向者向け研修会を開催します！

岩手県オリジナル水稻新品種「白銀のひかり」は、今年度から久慈地域でも本格的な生産が始まっています。

この「白銀のひかり」を新たに生産・出荷してみたい方を対象とした説明会を、下記のとおり開催しますので、参加を希望する方は、事前にお申し込みください。

1 開催日時

1 回目：令和7年7月16日（水） 13時30分～14時30分

2 回目：令和7年7月28日（月） 13時30分～14時30分

※ 1 回目、2 回目とも同じ内容ですので、どちらかにご参加ください。

2 場 所

久慈地区合同庁舎 6階第4会議室 （久慈市八日町1－1）

3 内 容

- (1) 「白銀のひかり」の特徴と生産について
- (2) 作付経営体の要件（R7年産の要件）について
- (3) 試食（「白銀のひかり」と「いわてっこ」の比較）

4 対象者

久慈地域の「白銀のひかり」栽培志向者（水稻生産者）

5 申込先

久慈農業改良普及センター産地育成課（電話：0194-66-9683）

6 申込期限

令和7年7月10日（木）

7 その他

- (1) 研修会への参加は、事前申込制とします。申込みの際に、氏名や連絡先、主食用米の作付・出荷状況等いくつか確認を行いますので、御了承願います。
- (2) 「白銀のひかり」を作付けするためには作付経営体登録が必要であり、前年に主食用米の販売実績があること等、いくつかの要件を満たす必要があります。（要件については、研修会でも説明します。）



令和7年度 農薬適正販売・使用研修会開催要領

1 目的

岩手県では、毎年6月1日から8月31日を農薬危害防止運動月間とし、農薬の使用や販売に関する正しい知識の普及・啓発を始めとする各種の取り組みを実施している。

本研修会はこの運動の一環として、農薬の適正な使用や販売に関する知識、理解を一層深め、農薬による危被害の防止を徹底するとともに、効率的な病虫害防除にかかる資質向上を図ることを目的に開催する。

2 主催

岩手県、全農岩手県本部、岩手県農薬卸商業協同組合、(一社)岩手県植物防疫協会

3 対象者

農薬販売者、農薬管理使用アドバイザー、農薬使用者(農業者、造園業者、防除業者等)、農協等営農指導者、農業改良普及センター等

4 開催日時・会場

(1) 開催日時 令和7年7月10日(木) 13:30～15:30(開場13:00～)

(2) 会場 キャラホール(都南文化会館) 大ホール
〒020-0834 岩手県盛岡市永井24地割10番地1 TEL: 019-637-6611

5 研修

(1) 岩手県における高温等の気候変動への適応策について 講師: 農業普及技術課

近年、高温による農作物等への影響が拡大しており、気候変動により今後予測される被害を回避・軽減するための対策に取り組む必要があります。このたび、岩手県では今後10年程度の気候変動を見据えた「高温等の気象変動への適応策」を作成しました。作物ごとの気象変動による影響と今後の取組方向について、病虫害対策を中心に紹介します。

(2) 岩手県における農薬の適正使用・販売について 講師: 農業普及技術課

農薬の適正な使用及び販売を行なうために必要な基礎知識として、農薬の果たす役割や農薬取締法の概要を解説するとともに、本県における近年の農薬使用基準違反の事例や農薬販売者への立入検査結果の状況等をふまえ、適正な使用・販売についての留意点を確認します。

(3) 安全で適正な農薬の使い方 ～農薬の飛散防止対策、周囲に配慮した防除～

講師: (公社)緑の安全推進協会 池田 芳治氏(協友アグリ株式会社)

農薬は農産物の安定生産や病虫害の効率的及び省力的な防除に大きな役割を果たしていますが、その一方で、適正に使用しなければ農薬使用者や消費者、周辺環境への被害をもたらす危険性があります。

本講演では、前年度アンケートの要望もふまえ、農薬の飛散防止対策や周囲に配慮した防除など、安全で適正な農薬の使い方について研修します。

6 参加費 無料

7 参加申し込み方法

別紙参加申込書により、6月30日(月)までに、FAX、郵送、E-mailのいずれかにより下記申し込み先へお申し込みください。

8 申し込み・問い合わせ先

岩手県病虫害防除所 〒024-0003 北上市成田20-1(岩手県農業研究センター内)

担当: (農薬指導チーム) 及川、秦、菅野

TEL: 0197-68-4427 FAX: 0197-68-4316 E-mail: CE0001@pref.iwate.jp

岩手県病虫害防除所 及川 あて

F A X : 0197-68-4316

E-Mail : CE0001@pref.iwate.jp

令和7年度 農薬適正販売・使用研修会 参加申込書

申込者所属 :

申込者氏名 :

所属（会社・団体名）	氏名	連絡先（電話）	備考

申込締切：令和7年6月30日（月）

電子メールを活用した農業情報のサービスを行っています

久慈農業改良普及センターでは、農作物技術情報、台風や気象災害などへの注意情報、病害虫に関する情報、スマート農業に関する情報などをタイムリーに入手することに役立つメール配信をしています。

ご自身のメールから ce0026@pref.iwate.jp (普及センター組織アドレス) まで「氏名」、「住所」、「電話番号」を送信していただければ、いつでも登録できます。登録すれば久慈農業改良普及センター(地域 ML)からだけでなく、県(県 ML)からも情報が配信されます。

【二次元バーコードからも申込みできます】

これまでに県から配信した内容は、次のような内容です。

- ・農作物技術情報(毎月、号外あり)
- ・農作物病害虫発生予察情報
- ・病害虫防除速報(水稻、野菜、果樹、花きなど)
- ・産地情報「産地紹介・人物紹介」(毎月)
- ・県からのお知らせ(イベント案内、研修会案内など)



今後も随時、情報発信していきますので、ぜひご活用ください。

～いわてアグリベンチャーネット掲載記事の紹介～

いわてアグリベンチャーネットでは、毎月、各地域の農業情報をお知らせしています。

【4・5月分の掲載記事】

○産地・産直情報

《中部西和賀》西和賀町における「西わらび生産・販売振興」
《大船渡》白山小学校で田植え体験学習を行いました

○人物紹介

《奥州》人物紹介『「もも」と「さくらんぼ」で地元農業を盛り上げたい！ 阿部真子さん』
《久慈》人物紹介『吉村大悟さん・雅子さん お世話になった地域へ恩返ししたい』

○『普及活動年報』県内各地域の普及センターの取組を紹介します。

下記の URL、または右の二次元バーコードからご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/index.html>



久慈農業改良普及センターfacebook 公開中！

久慈寒次郎が、最新の情報や、HOT な情報をお届けします。
下記の URL、または右の二次元バーコードからご覧ください。

<https://www.facebook.com/岩手県久慈農業改良普及センター-581601925540151/>

